



さんだ

秋号



Seasonal Information
From SANDA Water
Purification Plant

2014
Vol. 03

安全で安心な水をいつでも

私たちの暮らしになくてはならない水を 365日、24時間いつでも
休みなく送り出している三田浄水場のホットな話題をお届けします

秋だけなわの三田市内では、
ヒガンバナやコスモス、ススキなどが
短期間にめまぐるしく
田園の彩りを変えていきます。

Message

三田浄水場ってこんなところ

- 水源を訪ねる 青野ダム / 青野ダム記念館
- 水質管理がいのち ~化学の力で水を浄化~
 - ◆水源パトロール
- すいどうマメ知識
浄水場で金魚飼ってるのはナンで~???
- さんだ Topics
 - ◆太陽光発電所 ◆ソーラーカーを展示中
 - ◆災害に備え、事故対策訓練を実施 ◆備蓄物資を搬出
- 四季彩 三田あちこち秋色スケッチ

Information

- 水道災害シンポジウム 参加者募集中
- 淡路花博 2015 花みどりフェア パスポート発売中



◆三田浄水場ってこんなところ

三田浄水場は、JR新三田駅と広野駅のちょうど中間あたり、西野上地区の武庫川沿いにあります。敷地の広さは、甲子園球場の約 1.5 倍 (54,686 m²)。



昭和61年度から三田市、三木市、加東市へ給水を開始し、現在では小野市や神戸市北区、篠山市へも給水、その水量は1日平均でおよそ 56,000 m³ となっています。平成35年度には、三田市のほか5つの市に1日最大 88,600 m³ の水道水を届ける計画になっています。

◆水源を訪ねる

三田浄水場は、青野ダムを水源とし、すぐそばを流れる武庫川から取水しています。



青野ダムでは、全国に先がけて、ダムで分断される川の上流と下流を多自然型魚道で結び、魚の上りやすい川づくりと、水生昆虫など多様な生物が住みやすい環境の保全にも取り組んでいます。



青野ダム は、武庫川沿川6市（三田、神戸、宝塚、伊丹、西宮、尼崎）を洪水のはんらんから守るとともに、水道用水やかんがい用水などの供給を目的として、昭和63年につくられました。武庫川水系の青野川と黒川をせき止めて貯水しています。

青野ダムのあらし	
水系	武庫川(青野川)
ダムの種類	重力式コンクリート
高さ(m)	29.0
有効貯水量(万m ³)	1,410
目的	治水、上水、不特定用水
取水量(m ³ /日)	92,000



青野ダム記念館

青野ダムの完成を記念して千丈寺湖(ダム湖)畔に建てられました。周辺地域から出土した須恵器など多数の埋蔵文化財をはじめ、ダムの模型など建設のあゆみがわかる資料も展示されており、自由に観覧できます。

- ◆開館時間 9時から17時
- ◆休館日 毎週月曜日及び年末年始(12/28~1/3)
- ◆入館料 無料

◆水道事業では水質管理がいのち

～化学の力で水を浄化～

青野ダムの貯水池には、藻が発生しやすく、これがかび臭の原因になることがあります。また武庫川には、油の流出事故や川沿いの事業所などからの汚染物質流入のほか、田植え期に雨が降って濁りの度合いが高まったりするなど、水質異常を引き起こすさまざまな不安材料があります。



このため、浄水場には化学職という専門の職員を置いて、県の水質管理センターや阪神北県民局環境課などと連携を図り、常に水質監視に努めるとともに、万が一の時には即座に水質改善対策を講じることができるよう万全の体制を取っています。



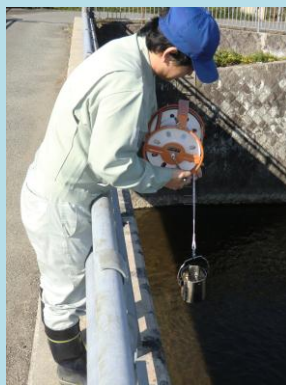
かび臭連続監視装置の
測定値をチェック

特に、かび臭に対しては、連続監視装置を備えて厳しくチェックするとともに、頻繁に水源パトロールと水質調査を実施しているほか、かび臭を取り除くための活性炭注入も安全かつ効率的に行っています。

また、青野ダムでも、水質の変化に応じて、放流する際の水深を切り替えるなど、水質事故防止のため連携を図ってくれています。



水源パトロール ～水道水のもととなる水質に目を光らせています～



青野川での
採水による水質調査

三田浄水場では、毎月3回以上の頻度で水源パトロールを実施しています。夏場は、主にかび臭の原因となる生物の発生具合を、秋頃から冬にかけては、例年、河川工事が行われることが多いので、工事による川の濁り具合を監視し、前もって取水口付近の水が濁るのを察知して、対策を講じていきます。



また合わせて、魚が死んでいないか、油などの汚染物質が流れていないかにも注意を払っています。安全な水道水を作るためには、常に河川の状況を把握しておく必要があります。水源パトロールは欠かせません。

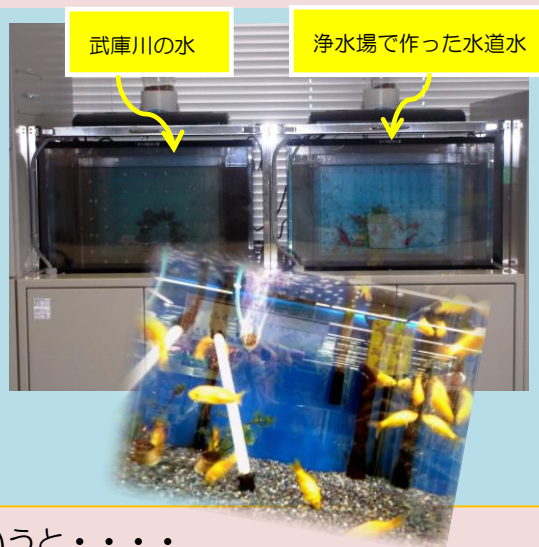
◆すいどう マメ知識 (その3)

浄水場で金魚飼ってるのはナンで~???

中央操作室の特等席に2つの水槽が並んで置かれています。どちらの水槽にも金魚が泳いでますが、これって、鑑賞目的で置いてるんでしょうか???

いえいえ、実は・・・、左側水槽には武庫川の水を、右側水槽には浄水場でできた水道水を入れ続けています。もし、水道水になる前の河川水に毒物など危険な物が混ざってれば浄水処理ができません。というわけで、水槽の中の金魚たちは、武庫川の水に異常がないかどうかを監視し、シグナルを発する役目を果たしてくれているというわけなんです。

ふたつ並んだ水槽、ここに金魚が・・・



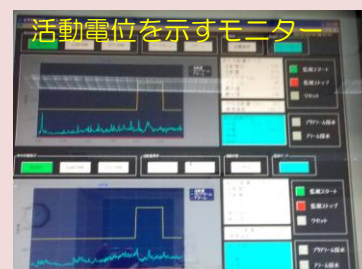
どうやって金魚がアラームを???

では、金魚がどうやって水質異常を知らせるのかということ・・・。

水槽に取り付けたセンサーが金魚の活動電位を絶えず測っていて、異常な行動を示せばアラームが鳴るという仕組みになっています。

もしも、毒物などが水槽内に流れ込むと、金魚がパニックを起こして動きが激しくなり、アラームが鳴って危険を知らせます。反対に、金魚が弱って動きが少なくなってもアラームは鳴ります。

水槽を見ていなくても、常に水質を監視できるというわけです。



屋外にある池でも、武庫川の水と水道水を取り込んで魚を使った監視を行っていますが、屋内の水槽と違い、池の水道水には塩素を消すカルキ抜きは入れていません。なぜなら、塩素は日光に弱く、屋外では池の汚れやバイ菌に対しては効果が弱まるからです。

(金魚鉢で金魚を飼おうという時、水道水にカルキ抜きの薬を入れる代わりに、1日ひなたに置いておいたりしませんでしたか?)

塩素は、水道水には欠かせない薬品です。

浄水場に貯めた水が家庭に届く頃には、作られてから数日が経っているという場合もあります。塩素殺菌していなければ、その数日間にバイ菌が繁殖したりして飲めなくなってしまいます。

ということで、安全で安心な水道水をお届けするためには、塩素などの薬品を上手く使っていくことも大切なんです。



◆さんだTopics

兵庫県企業庁のメガソーラープロジェクト

再生可能エネルギーの普及を図るため、兵庫県企業庁の保有施設などを活用して各地で整備が進められています。

三田カルチャータウン太陽光発電所

8.6ha の敷地内に計 26,124 枚の太陽光発電パネルが敷き詰められ、発電出力は、6,530 kw。自治体設置で現在稼働中の太陽光発電施設としては、全国最大の容量・規模です。



見学スポット

- ◆所在地 三田市学園 1 丁目
(関西学院大学三田キャンパス西側)
- ◆見学 展望施設への入場・見学は自由(無料)
- ◆駐車場 バス2台分の駐車場あり。

問い合わせ先

兵庫県企業庁分譲推進課 Tel.(078)362-9390

同 情報公園都市建設事務所 Tel.(0794)82-8265

三田浄水場の太陽光発電 ~ソーラーカーを展示中!!~

三田浄水場への太陽光発電システム導入の際にデモ製作されたソーラーカーを、管理棟ロビーで展示しています。ロビーでは、場内ソーラーシステムの発電状況をモニターで見ることがもできます。



環境学習をサポートしています
~神戸市や西宮市のまちづくり協議会
などが相次いで三田浄水場を視察~



最近、一般団体の訪問が相次いでいて、スタッフ一同驚いています。

春は、三田市や三木市などから大勢の小学生が見学に訪れてくれますが、今秋は各地のまちづくり協議会など 4 団体が相次いで視察に訪れました。

いずれも、地域の環境学習の一環に組み込まれているようです。水道用水供給事業とともに太陽光発電の普及などにも取り組む三田浄水場のことが管外にも少しずつ知られ、関心を持ってくれる人が増えているのかなと考えています。

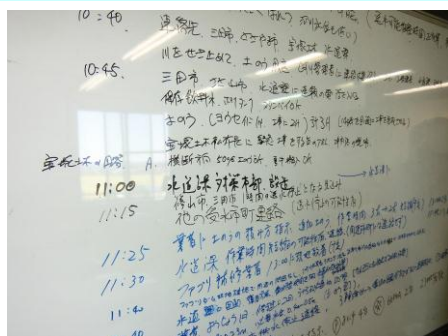
さんだ Topics

◆災害に備え、事故対策訓練を実施 (2014.10.8)

地震や洪水などによる水道施設の被害を想定し、毎年、三田浄水場では関係機関と連携して災害や事故への対応訓練を実施し、いざというときに迅速・的確に動けるような備えをしています。



今年は、武庫川からの取水口下流にあるファブリダムが損壊し、一時的に取水がストップしてしまうという想定下での訓練となりました。ここで明らかになった課題とその検証の積み重ねが、安全で安心な水道水の供給に活かされるものと考えています。



県内での豪雨災害に備蓄物資を搬出

今年の夏も豪雨災害が相次ぎました。

8月16日からの大雨に襲われた丹波地域では道路・河川・住宅などの損壊被害とともに、丹波市内の浄水施設が被災し、9月中旬までの長期にわたって多くの世帯で断水が発生しました。

災害救助法の適用と激甚災害の指定がなされ、県や各市町が相互応援協定に基づき応急給水車を派遣するなど、さまざまな支援を行いました。三田浄水場からも災害用備蓄物資を搬出。日頃からの備えが大事なことをあらためて実感する機会となりました。

～毎月17日は「減災活動の日」～



場内で備蓄していた給水用ポリタンク 250 個をトラックに積み込むたくましい(?) 職員たち

◆四季彩 さんだ・にしのがみ



浄水場にも地域にも季節ごとの顔がありますし、場内から見える景色も四季ごとにカラフルに変化してくれます。

三田あちこち秋色スケッチ

三田の秋はめまぐるしく風景が変わります。9月下旬には浄水場周辺の田んぼや武庫川の土手でヒガンバナが満開となり、10月には、少し車を走らせると広大な休耕田がコスモス天国になっているのを目にすることも。そして、それに続くのがススキですね。



西野上の空に虹が・・・



秋の風物詩“野焼き”もあちこちで見られます。
(写真は、高平地区で)



川原地区のヒガンバナ



波豆川地区の休耕田
を利用したコスモス畑



ひょうこの近代住宅100選
「秋景楼」(川原地区)

西野上地区でもヒガンバナやコスモスは見られますが、今回は休日にすこし足を延ばして、三田の秋景色を拾ってきました。

◆Information

水道災害シンポジウム 参加者募集中



阪神淡路20年



下記ホームページよりご応募ください。
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kc02/sympo2014.html>
参加申込期限 12月19日(金) 必着

参加無料

と き 平成27年1月22日(木)～23日(金)
と ころ 淡路夢舞台国際会議場 2F メインホールほか
主 催 同シンポジウム実行委員会、ひょうご安全の日推進県民会議
プログラム

- 1日目** ○基調講演 テーマ「来たるべき巨大地震災害に備えるためにできること」
○パネルディスカッション テーマ「水道の地震対策の取組みとその課題」
○研究事例発表(分科会1)
- 2日目** ○フォーラム (分科会2) ※一般の方も気軽にご参加ください
テーマ「予想される水道施設の被災状況とそれに対する住民の備え」
○現地見学〔オプション〕13:00～16:00 先着順・無料
野島断層保存館～明石海峡大橋送水管など2コース
- 期間中** ○水道耐震化施設等展示会

問合せ先 兵庫県企業庁水道課 TEL (078) 362-3684〔直通〕

●淡路花博2015

花みどりフェア パスポート発売中

開催期間 平成27年3月21日(土)～5月31日(日)

淡路会場 / 洲本会場 /
南あわじ会場 / サテライト会場



国営明石海峡公園や淡路ファームパーク、大鳴門橋記念館など
6施設の総額3,210円分の入場券と150以上の施設のお得なクーポン付
(入場料最大50%割引をはじめ、食事代割引など各種特典が満載)



前売販売価格 大人1,500円、子ども400円
当日販売価格 大人1,800円、子ども500円

団体等一括申込で、さらにお得な大人
1,300円、子ども300円で購入可

花と緑に加え、多彩な食、自然環境など暮らし全体をテーマとしたさまざまなイベントや展示が淡路島全島で繰り広げられます。

問合せ先 淡路花博15周年記念事業実行委員会事務局

TEL (0799) 74-5466 <http://www.awajihanahaku2015.jp/>

発行 兵庫県企業庁 北摂広域水道事務所 (三田浄水場)

〒669-1314 三田市西野上字上通り152番地
TEL. (079)567-1663 FAX. (079)567-1674
メール hokusetsusuidou@pref.hyogo.lg.jp